



牧村 範康 議員

自治体クラウドについて

～システムの最適化と災害対策を！～

クラウドシステムは、開発・管理コストの低減が図られサービスの向上、業務の効率化が進むが、町のICTシステムの開発及び維持管理コストはどれほどか。また、今後の見込みは。

町長

昭和63年以降、11億9400万円の経費が投入されている。今後は毎年5000万円の見込み。

自治体クラウド構想をどのように捉え、ICTを活用した行政の効率化について、今後どのように取り組むのか。

町長

池田町の規模からすると自治体クラウドの取り組みによるコスト的メリットは少ない。4月から揖斐郡3町で取り組みを開始している。

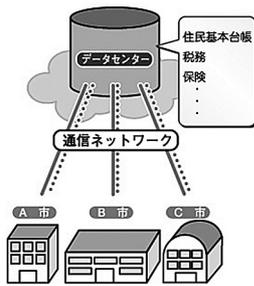
各課の情報データはどのようにバックアップをされているのか。また、有事の際、万全であるか。

町長

業務終了後、サーバーとは別にバックアップし3年分のデータを保存している。庁舎は絶対安心だと自信を持っているが、今後は、時代の流れを見極めて進めていく。

要望
クラウド化に関して、分野ごとに具体的なソリューションを検討して頂きたい。

自治体クラウド(イメージ)



フォロースクールについて

～健全な公教育のあり方～

伝染病等で長期出席停止の児童生徒や教育格差是正の意図で、夏休みなどを活用したフォロースクールを全ての小中学校で開講できないか。

町長

夏休みに学校でなく中央公民館で4日間実施する。昨年は温知・池田小の児童のみが延べ46名が参加した。

近年、教育相談の要望が増

通学路の安全対策について

ゾーン30の検討と自転車運転免許制

いるので、十分研究していきたい。

徹底した交通事故防止や道徳教育上の観点からも自転車通学の中学生には、自転車免許制を導入してはどうか。

町長

実施している自治体があるので研究していく。罰則ではなく、運転マナーを認識させることが重要であると考える。

町長

岐阜県のエリア規制は、駐車禁止もあわせてやるということに難しい。カラー舗装は県や公安も緩和措置を講じて